

専門分野Ⅱ・精神看護学実習の計画

科目概要	精神看護の対象者は、学校、家庭、地域社会で生活するあらゆる段階の人々である。 実習にあたっては既習の地域を活用し、精神障害とともに生きる対象についての理解を深め、生活支援における看護師の役割について学ぶ。
実習目的	精神障害のある対象の理解を深め、対象に応じた看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する。
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害のある対象を、ひとりの人間として尊重することができる。 2. 精神障害が日常生活や対人関係に及ぼす影響を理解できる。 3. 精神障害のある対象を理解し、病期や治療過程に応じた看護活動について理解できる。 4. 精神障害者が地域で生活するための支援について理解し、求められている看護の役割を考慮することができる 5. 患者—看護師間の相互作用の中で、学生自身が治療的環境の一部であることを意識して行動することができる。
実習場所	実習方法・実習場所
病院実習 ＜帯広厚生 病院＞	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習方法【6日間】 患者1名を受け持ち、閉鎖病棟における患者の日常生活援助を中心に看護過程を展開する。
多機能型福 祉サービス 事業所 ＜帯広ケア センター、 稲田館＞	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習方法【2日間】 サービス利用者・スタッフとともに作業・活動プログラムに参加し、地域で生活する精神障害者の就労支援および生活支援の実際を学ぶ。1グループ2～3名ずつの学生で構成する。 稲田館 1日間 帯広ケア・センター 1日間 ※各施設で利用者とともに昼食をとる。指導者とまとめを行う。 2. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神障害者の地域生活を支える施設の活動と目的、及び法制度上の位置づけについて理解する。 2) サービス利用者・スタッフとともに作業、活動プログラムに参加しながら、利用者の特徴を理解する。 3) 稲田館では生活訓練、ケア・センターでは就労支援・活動支援の実際を主に体験し、施設の目的や意義についての理解を深める。 4) 精神科病棟での実習体験を統合し、精神障害者の回復プロセスを支える上で、大切なことは何かを考慮することができる。
包括型地域 生活支援プ ログラム ＜おおえメ ンタルクリ ニック＞	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習方法【半日】 スタッフとともに地域で生活する精神障害者の元へ訪問し、生活を支援するための社会資源について学ぶ。1名の学生で構成する。 ACT+勝 半日（午前） 学内学習 半日（午後） ※昼食は学内でとる 2. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神障害者の地域生活を支える社会資源として、多職種との連携や医療・福祉などの総合的な支援を行うACTの役割について理解する。 2) スタッフとともに学生1名に対し利用者1名の元へ訪問し、利用者の特徴を理解する。 3) 入院から地域へつながる支援サービスのあり方について考えることができる。
留意点	病院実習は閉鎖病棟での実習となるため、患者の安全を守るための病棟ルールを守って行動する。
評価方法	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。実習評価表は実習要綱に提示する。
先修条件	疾病・治療論Ⅷ、精神看護学概論Ⅰ・Ⅱ、精神看護学援助論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅲの単位修得